令和2年度　市民提案型まちづくり支援事業採択事業一覧

	新規 継続	団　体　名	事　業　名
1	新規	ボランティア団体 松任グッドエイジング推進会	伸ばそう健康寿命！ポールと歩きましょう
2	継続 (2年目)	歩恋う会かさま	わがまちを歩恋う　知ろうふるさとの歴史
3	新規	松任海岸清掃協力隊	松任の海岸保全に貢献
4	新規	出城ゆ～城倶楽部	「地域住民協働で創るゆ～城ネットワークの構築」
5	新規	AI時代のためのプログラミング会	ロボットのプログラミング教室　ー御手洗地区ハックー
6	新規	林中まちづくり委員会	林中防災ボランティアによる安心なまちづくり事業
7	継続 (3年目)	林中かかし地域おこし実行委員会	かかしで林中の景観と伝統を守る事業
8	継続 (3年目)	東大寺領横江荘荘園まつり実行委員会	東大寺領横江荘　荘園まつり
9	継続 (3年目)	山島新しいまちづくりの会	山島　安心・安全まちづくり事業
10	継続 (3年目)	千代野はいかい対策委員会	千代野認知症はいかい対策事業　高齢社会意識調査と分析
11	新規	千代野GGOの会	千代野中央公園および同周辺の環境整備事業
12	新規	加賀野地区自主防災委員会	「加賀野地区・災害に負けないまちづくり」
13	継続 (2年目)	美川御酒保存会	本吉北前船と祝い唄「御酒」、”本吉「帆柱起こし」の唄”
14	新規	一の宮桜の郷友の会	桜の植樹による一の宮地区活性化事業
15	継続 (3年目)	こびとづかんの町つるぎ実行委員会	こびとづかんの町つるぎ　町おこし
16	継続 (2年目)	鶴来ふるさと歴史研究会	新鶴来八景の発掘と伝承事業
17	継続 (2年目)	白山瀬波の会	白山市天然記念物「桂の木」散策道等の 周辺環境整備及び景観改善・周知
18	新規	特定非営利活動法人 白山しらみね自然学校	白峰移住あるある支援事業

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　①	
事業名	伸ばそう健康寿命！ポールと歩きましょう【新規】
団体名	ボランティア団体 松任グッドエイジング推進会
活動地区	松任地区
活動紹介（事業の概要）	

「ポールウォーキング」の普及による健康寿命の延伸を目的として、ポールウォーキング講習会を開催しました。当初はコロナ禍により外出を控える高齢者が多く、参加人数は低迷しましたが、広報への掲載後から徐々に参加人数が増えてきました。参加者からは「短時間で姿勢が良くなった」、「全身を使って歩く体験が新鮮だった」など多くのの感想を頂きました。

【活動内容】
・ポールウォーキング講習会　10回開催
　延べ参加人数　181人

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　②	
事業名	わがまちを歩恋う　知ろうふるさとの歴史【継続２年目】
団体名	歩恋う会かさま
活動地区	笠間地区
活動紹介（事業の概要）	

　健康で豊かに生涯を生きるため、地域・社会活動の一翼を担い、健康寿命の延伸を図ることを目的に、地域住民にウォーキングの普及を図りました。また、作成したウォーキングマップを活用して、金城大学、短期大学部及び地区内各種団体と連携し、定期的に各コースのウォーキングを実施し、健康寿命に対する住民意識の高揚を図ることができました。

【活動内容】

- ウォーキングマップを作成し、地区全世帯及び公共施設に配布。
- 「歩恋う会だより」（5月、10月）の発行。
- 笠間地区文化祭にて活動報告や健康寿命延伸啓発の展示。

白山・笠間の「歩恋う会」

歩いて健康、マップ完成

金城大生が協力 28日、全世帯配布

5区域各3コース

完成したマップと広報紙 ―白山市笠間公民館

北國新聞掲載(R2.5.24)

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　③	
事業名	松任の海岸保全に貢献【新規】
団体名	松任海岸清掃協力隊
活動地区	宮保地区
活動紹介（事業の概要）	

海岸清掃活動を継続的に実施することで、白山市民の海岸保全への意識の向上を図ることができました。また、海岸清掃ガイドブックや動画を製作し、松任の海岸へのゴミ投棄、漂着ゴミの問題の重大さを発信しました。

【活動内容】

- 私達の故郷の海岸を清掃し、海岸保全に貢献する（実施回数：５回）
- 松任海岸へのゴミ投棄、漂着ゴミの問題の重要さを発信する。
  松任海岸清掃協力隊マスコットキャラクター（名前「マツクマ」）を宮保地区在住の小学生にデザインしてもらい、海岸清掃ガイドブック製作、動画の製作・発信を通じて多くの人々へ海岸ゴミ問題や海岸清掃参加協力を呼びかけることができました。
- 白山市民の海岸清掃活動参加を促進する。
  製作したガイドブックを公民館で配布することにより、地域の方々へ海岸清掃への参加を働きかけることができ、また、ガイドブックのプレスリリースにより、市外の地域グループの方へにも活動を知ってもらうことができました。

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　④	
事業名	「地域住民協働で創るゆ～城ネットワークの構築」【新規】
団体名	出城ゆ～城倶楽部
活動地区	出城地区

活動紹介（事業の概要）

　新しい住民や若年層相互の交流を図る様々なイベントを通じて横の繋がりを作るとともに、子ども達や女性など幅広い層が参加できる環境を作り、地域の担い手人材の発掘と市民協働で創るまちづくりに繋げていくことを目的として事業を実施しました。

【活動内容】
- とうもろこし農業体験会
　収穫体験を通して収穫する喜びや農業に対し興味を持ってもらうことができました。
- ジュニアペタンク大会
　白山市ペタンク協会の協力を得て、参加者に公式ルールや競技の楽しみ方を伝える事ができました。
- アピール用旗セット、スタッフジャンパーの制作

とうもろこし収穫体験会

ジュニアペタンク交流会

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑤	
事業名	ロボットのプログラミング教室　ー御手洗地区ハックー【新規】
団体名	ＡＩ時代のためのプログラミング会
活動地区	御手洗地区

活動紹介（事業の概要）

　地区の小学校が夢を持ってＡＩ時代に成長するように、ロボットのプログラミング教室を開催しました。地区の高齢者が勤務時代の経験を生かして指導し、小学生と一緒に日常生活の課題を解決するプログラミングに取り組むことにより、高齢者と子ども達との世代間交流ができ、また、参加した小学生からは、「難しかったけど、ロボットが動いて楽しかった」、「プログラミングの楽しさや興味、関心が大きくなりました。」など、多くの感想が聞かれました。

【活動内容】
- 夏期プログラミング教室　２回実施　参加児童数 計７人
  ８個のプログラムとロボットを作成。
- 冬期プログラミング教室　参加児童数 ５人
  ８個のプログラムとロボットを作成。
- 春期プログラミング教室　参加児童数 ６人
  衝突回避自動ロボットを解説なしで自分で最初から作成しました。

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑥	
事業名	林中防災ボランティアによる安心なまちづくり事業【新規】
団体名	林中まちづくり委員会
活動地区	林中地区

活動紹介（事業の概要）

近年、全国において災害が多発している中、地区内の災害弱者が安心で安全な生活が送れるよう、地区住民の災害ボランティアによる災害の事前訓練を行うことにより、住民の防災意識の向上、地域のつながり・交流、子どもと大人の世代間交流を図ることができました。

【活動内容】

「防災ボランティア」による防災活動等

- ボランティア講演会（講師：石川県防災活動アドバイザー）
  講演会終了後に「林中地区自主防災会設立総会」を開催。参加者数34人
- 防災図上訓練（防災研修会）　参加者数34人
- 防災啓発
  林中文化祭にて「防災展」及び防災会会長による「防災プチ講座」を開催。
- 防災計画検討会
- 防災訓練（避難訓練）11月15日　参加者96人　アンケートの実施。
- 防災訓練検討会
  アンケート結果と防災訓練の意見交換を行い、問題点の検証を行う。
- 防災広報の発行（年３回）

林中文化祭・防災展

防災訓練（避難訓練）

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑦	
事業名	かかしで林中の景観と伝統を守る事業【継続３年目】
団体名	林中かかし地域おこし実行委員会
活動地区	林中地区

活動紹介（事業の概要）

農地と自然が溢れる稲作中心の純農村地帯において、昔懐かしい「かかし」で農村景観と伝統行事を守ることにより、地域の活性化を目指しました。コロナ禍で一部行事が中止となりましたが、行事での「かかし」の展示や、かかしコンクールの開催等を通じて地域全体で伝統継承を行うことができました。

【活動内容】
- 入園・入学お祝いかかし　見学者570人（園児211人、児童359人）
- 七ケ用水ウォーキングＩＮかかし（歩行者60人）
  山島用水沿いにかかしを並べ、ウォーキングの応援を行ったところ大好評となり、新聞報道されました。
- 第４回かかしコンクール
  出品かかし12体、かかし人気投票数219票、表彰式参加者10人
- 田んぼのかかし展示
- 冬期間かかしイルミネーション展示、防犯対策かかし展示
  見学者50人（子ども30人、大人20人）

入園式お祝いかかし

七ケ用水ウオーキングINかかし

かかしイルミネーション展示

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑧	
事業名	東大寺領横江荘　荘園まつり【継続３年目】
団体名	東大寺領横江荘荘園まつり実行委員会
活動地区	郷地区
活動紹介（事業の概要）	

郷地区横江町にある国指定史跡「東大寺領横江荘遺跡」は2018年に東大寺に寄進され1200年の節目の年となった。郷土の歴史を再認識し、古き時代の文化を学ぶ機会ととらえ、今年も春から秋にかけて世代間交流による地域住民参加型の事業を行いました。３年間事業を実施することができ、地域住民にもこの事業が広く認知され、地元の歴史についても興味を持っていただくことが出来ました。

【活動内容】
- 荘園米田植え　参加者　大人20人
- 荘園米稲刈り　参加者　大人30人、小人10人
- 東大寺へ荘園米奉納　２人で奉納
- 三市三大史跡巡りツアー　参加者　地区住民30人
- 史跡巡りウォーキングマップ作製　3,000部
- 音声告知ガイドシステムの製作

三市三大史跡巡り

古代米「横江荘園米」脱穀作業

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑨	
事業名	山島　安心・安全まちづくり事業【継続３年目】
団体名	山島新しいまちづくりの会
活動地区	山島地区
活動紹介（事業の概要）	

山島地区の安心・安全なまちづくりのため、防災・防犯や高齢者や子ども達の見守りに関する事業の実施により、住民の意識向上を図り、住民同士の助け合い精神の醸成することで、自助共助のまちづくりに寄与することを目的としました。

コロナ禍による三密回避のため、参加者人数を制限しての事業実施でしたが、町会長や関係者などの参加者には一定の意識付けができました。

【活動内容】

●児童クラブとの連携　山島台メルヘン児童クラブ防災訓練の実施

避難場所：山島台児童センター　参加人数：児童40人、指導員7人

〈児童避難訓練〉シェイクアウトと山島台集会所建物から山島台児童センターへの避難

〈保護者への伝達訓練〉児童が山島台児童センターへ避難したことをＬＩＮＥにて一斉通知

●山島地区防災訓練の実施　参加人数：109人

・避難状況情報連絡訓練（町会長が町内状況を把握し、市へ報告）

・避難所備蓄品の確認（町会長のみ、その他希望者）

各町内の避難状況や人数、被災状況を把握し、情報を連絡する目的の訓練を実施。

●ホームページ改修・運用

●活動報告の全戸配布（３カ年実績報告）

白山市市民提案型まちづくり支援事業

「山島 安心・安全なまちづくり事業」

山島台メルヘン児童クラブ 防災訓練

【訓練想定】
地震発生　白山市　震度６弱
集会所建物損傷発生
避難勧告発令　警戒レベル４
取るべき行動 → 『避難』
16時15分
訓練サイレン・アナウンスあり

『児童避難訓練』および『保護者への情報伝達訓練』

開催日時：令和2年10月22日（木）16時15分～17時15分
（小雨決行，荒天時延期）
予備日：11月5日（木）16時15分～17時15分

避難場所：山島台児童センター（山島台の二次避難施設）

児童避難訓練：
16時15分『地震発生』訓練サイレン吹鳴（山島台1号公園のサイレンのみ吹鳴）
児童はシェイクアウト（机等の下に身を隠す行動）
地震が収まった後，集会所建物の損傷を発見。
児童は山島台児童センター（二次避難施設）へ避難する。
山島台児童センターにて，非常食と保存水の配布
訓練終了（訓練完了後，集会所へ戻る）

※コロナウィルス感染拡大防止対策として，
・訓練前に児童，指導員は検温を行ってください。
・避難時は，マスクの着用をお願いします。
・児童センターへ入所する前にアルコール消毒をお願いします

保護者への情報伝達訓練：
訓練時，児童が山島台児童センターへ避難したことをLINEにて一斉通知します。
（今回は返信不要とします）

安全で安心なまちづくり
自助，共助のまちづくり！！

山島台および津島町，吉田町の住民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。（防災スピーカーが鳴ります）

主催　山島台メルヘン児童クラブ
協力　山島新しいまちづくりの会
白山市総務部危機管理課
山島地区町内会長会
山島公民館
山島台町会連絡協議会

【問合せ先】山島 安心・安全まちづくり事業
事務局　谷　徳一（山島台二丁目）
Tel 090-2099-3616

白山市市民提案型まちづくり支援事業　『山島　安心・安全なまちづくり事業』

山島地区　防災訓練（情報連絡訓練）の開催案内

これからも　安心して安全に暮らせるまちづくりのために

コロナウィルス感染拡大防止のため，町会長と関係者のみで訓練を行います
（参加対象者は，マスク着用，事前の検温をお願いいたします。）

【訓練内容】
参加対象者：町会長　その他関係者（班長，自主防災組織，防災士等）
※参加が必要な住民へは，事前に町会長で調整をお願いします。

1．避難状況情報連絡訓練（町会長が町内状況を把握し，市へ報告）
①災害発生（地震を想定）　※9時に防災スピーカーにて，放送します
②各町内住民の避難や自宅被災状況を把握する。（机上想定でも可）
③町会長は町内の避難状況全体を集約する。
④二次避難施設にて，各町会の避難状況を集約する。
⑤二次避難施設にて，避難対象町会の避難状況を白山市避難所担当へ報告する。

2．避難所備蓄品の確認（町会長のみ，その他希望者）

【今回の訓練の目的】
災害発生後，状況（コロナや被災状況等）によっては，自宅に留まる自宅避難者や自ら避難できない要支援者の避難が必要とする場合がある。今回は，現実的に各町内（班内）の避難状況や被災状況を把握し，避難者の人数やその状況を把握し情報を連絡する目的の訓練とする。

●開催場所・日時　両日とも9時に防災スピーカにて訓練放送を流します

【12町会】
安吉，長島，内方新保，御影堂，上島田，島田
寄新保，吉田，津島，矢頃島，向島，藤本
場所：山島公民館（二次避難施設）
令和2年11月8日（日）
9時～12時

【山島台6町会】
山島台1丁目，山島台2丁目，山島台3丁目
山島台4丁目，山島台5丁目，山島台6丁目
場所：山島台児童センター（二次避難施設）
令和2年11月15日（日）
9時～12時

安全で安心なまちづくりに
住民同士（自助共助）協力し合いましょう！！

主催　山島新しいまちづくりの会
共催　山島地区町内会長会
山島公民館
協力　白山市総務部危機管理課

【問合せ】
白山市市民提案型まちづくり支援事業
『山島 安心・安全まちづくり事業』
事務局　谷　徳一
山島台二丁目14番地
Tel 090-2099-3616

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑩	
事業名	千代野認知症はいかい対策事業　高齢社会意識調査と分析【継続３年目】
団体名	千代野はいかい対策委員会
活動地区	千代野地区

活動紹介（事業の概要）

　住民が高齢化社会についてどのような地域のあり方や環境・生活を望んでいるのかを把握するため、全世帯アンケート調査を実施しました。回収率を上げるために設問やレイアウト、回収方法などに工夫をしました。アンケート結果報告会はコロナの影響により、町内会長や民生委員、福祉協力員など関係者だけの参加となりましたが、結果の分析により、住民に対してはこの高齢化社会を乗り切るため自活を促す啓発活動の方法など、今以上に安全で安心して暮らすことができる方策を地域に提案することができました。

【活動内容】
- 住民アンケートの実施　配付数：全世帯1,908、回収率：89.3%
- アンケート結果発表会の開催　参加者54人

千代野地区の皆様へ

アンケートのお願いです

秋も深まり、千代野地区の皆様方にはご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より千代野はいかい対策委員会の事業に対して、深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

この度、千代野はいかい対策委員会では白山市市民提案型まちづくり支援事業補助を受けまして、千代野地区の「高齢社会意識調査」を実施することになりました。現在、千代野地区の高齢化率は38.3%になっています。なかには50%近い町内会も2つあり、今後もさらに上昇する気配です。当委員会では、このような地域社会において皆様方から高齢社会に関するご意見を頂いて、これからの千代野地区が安心・安全に暮らせる地域を目指したいと思っています。調査については金城大学や白山市の協力を得て来年3月に調査・分析した結果を皆様方に発表します。アンケート用紙の配布、収集については各町内会並びに各班長の皆様方にお手数をおかけしますが、何とぞよろしくお願いします。

令和2年11月
千代野はいかい対策委員会
（千代野地区社会福祉協議会）

高齢社会意識調査

ここから質問です。皆で29問あります。回答は別紙の**回答用紙に記入**してください。

分類 1　回答者に関する質問です

1 質問1-1　あなたの性別は。
①. 男性　②. 女性　③. その他

2 質問1-2　あなたの年齢は。
①. 29歳以下　②. 30歳から39歳
③. 40歳から59歳　④. 60歳から69歳
⑤. 70歳から79歳　⑥. 80歳以上

3 質問1-3　あなたの職業は。
①. お勤め　②. 自営業　③. 無職　④. その他

4 質問1-4　あなたと一緒に暮らしている家族構成は、どのようになっていますか。
①. 一人暮らし　②. 夫婦のみ　③. 親子世帯　④. 2世帯同居
⑤. その他

5 質問1-5　現在住んでいる家の居住歴は。（お住まいになっている期間）
①. 10年未満　②. 19年以下　③. 29年以下　④. 30年以上

16 質問4-4　買い物、文化教養、スポーツ、娯楽などにでかける場合について、活動場所への距離感は。
①. 我慢できない　②. ほぼ我慢できる　③. 気にならない

17 質問4-5　外出する際の移動手段は何ですか。（複数回答可です）
①. 徒歩　②. 自家用車　③. 自転車
④. 公共交通機関　⑤. タクシー

18 質問4-6　生活に利用するいろいろな施設の充実度は。
①. 不便を感じる　②. ほぼ満足　③. 満足している

19 質問4-7　今以上に千代野地区に整備してほしい施設などがあれば記入してください。

分類 5　自分や家族の将来に関する質問です

20 質問5-1　現在、看病や世話をしている人はいますか。
①. いる　②. いない

21 質問5-2　将来、看病や世話をしてくれる人はいますか。
①. いる　②. いない　③. わからない

22 質問5-3　今の生活（暮らし）に不安はありますか。
①. ある　②. ない　③. わからない
↓あるとお答えになった方に質問です。
具体的にその不安は何ですか。（複数回答可です）
①. 病気・介護（親・配偶者・その他）
②. 認知症（親・配偶者・その他）
③. 住宅環境　④. 金銭　⑤. 家族関係　⑥. 移動や外出
⑦. その他
↓それはどのようなことですか？ ご記入ください。

分類 6　認知症に関する質問です

23 質問6-1　あなたは「認知症」についてどの程度ご存知ですか。
①. よく知っている　②. あまり知らない　③. 全く知らない

24 質問6-2　あなたはご自身やご家族が「認知症」になったらどうしたらよいか考えたことがありますか。
①. ある　②. ない

千代野地区
高齢社会意識調査　報告資料
2021.3.20

千代野はいかい対策委員会
千代野地区社会福祉協議会
協力:金城大学　内ゼミ

2020（令和2）年11月　実施
集計:1704サンプル

高齢社会意識調査アンケート結果発表会

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑪	
事業名	千代野中央公園および同周辺の環境整備事業【新規】
団体名	千代野ＧＧＯの会
活動地区	千代野地区

活動紹介（事業の概要）

千代野のまちづくりに務めることを目的として、多くの町民が集い、憩いの場でもある千代野中央公園とその周辺の環境整備を実施しました。活動時にロゴ入りジャンパーを着用することにより、会員の士気高揚とともに、町民の美化意識を高めることができました。また、樹木に対する関心と知識を高めるため、樹木に名札を設置しました。

【活動内容】
- 中央公園、遊歩道等の環境整備（除草、掃除等）８回実施　延べ参加者数 128人
- ロゴ入りジャンパー作成
- 樹木名プレートを作成・設置
- その他、会員４、５人が個人活動として環境整備を実施　延べ参加者数 320人

千代野中央公園
樹木に名札設置
ＧＧＯの会

白山市のボランティア団体「千代野ＧＧＯの会」は、千代野中央公園の樹木に名札を設置した。

地元の子どもたちに園内のツツジやサツキなどを知ってもらおうと企画。当初は千代野小学校の児童も参加予定だったが、新型コロナウイルス感染予防のため会員だけで二十七種類の四十本にアクリル製の札を取り付けた。上島静夫会長は「今後、学校の授業で活用してもらえたらいい」と話した。

ＧＧＯは「元気で頑張るおやじ、おふくろ」の略。七十～九十代の会員約三十人が毎月第三土曜日に園内の枯れ葉やごみを処理している。（都沙羅）

園内のケヤキに名札を付ける会員たち＝白山市千代野中央公園で（千代野公民館提供）

北陸中日新聞
R2.10.24

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑫	
事業名	「加賀野地区・災害に負けないまちづくり」【新規】
団体名	加賀野地区自主防災委員会
活動地区	加賀野地区

活動紹介（事業の概要）

加賀野で自分自身と愛する家族を守るため、今すべきことは何かを問い、防災意識の向上と住民が互いに協力して築き上げる、住んで安心暮らして楽しい災害に負けない強いまちづくりを目指します。最新情報を盛り込んだ地区防災マップ及び災害発生時緊急対応マニュアルを作成し、避難訓練で「黄色いハンカチ作戦推進運動」を実施しました。

【活動内容】

- 「加賀野地区防災ガイドブック」及びいち早い安全確認のための「黄色いハンカチ」をセットにし、地区全世帯と関係機関・団体に配布。
- 避難訓練の実施（10/18　参加者 51人）
  コロナ禍に適した段ボールベット・段ボールパーテーションを設置。トイレ設置体験を取り入れ、体験してもらったことが高評価につながりました。
- 文化祭にて、防災啓発パネル、非常用持ち出し品等を展示し説明しました。

黄色いハンカチ

避難訓練（加賀野体育館）

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑬	
事業名	本吉北前船と祝い唄「御酒」、”本吉「帆柱起こし」の唄”【継続２年目】
団体名	美川御酒保存会
活動地区	美川地区

活動紹介（事業の概要）

美川地区は古く北前船で栄えた湊町で、「御酒」は北前船の乗組員により伝わっていた古謡です。今年度は北前船や「御酒」について現代向けにまとめた冊子「美川の祝い唄冊子」を作成しました。この冊子は地域の伝統に興味を持ってもらうことを目的として小学生向けの教室や市民教室などで活用していきます。また、北前船のシンポジウムを開催することで、地域の知識向上を図ることができました。

【活動内容】

- 「本吉北前船物語と昔から美川に伝わる 祝い唄 御酒」冊子の制作（100冊）
  小学校、児童館、図書館等の公的機関へ配布しました。
- 北前船フォーラムの開催（開催日 10/18、参加者数 53人）
  コロナ対策のため人数を制限しての開催でしたが、参加者からは「非常に良かった。また企画して欲しい」とのご感想を頂きました。
- 美川中学校立志式にて、祝い唄「御酒」を披露しました。

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑭	
事業名	桜の植樹による一の宮地区活性化事業【新規】
団体名	一の宮桜の郷友の会
活動地区	一ノ宮地区
活動紹介（事業の概要）	

一ノ宮地区一帯を桜の名所とするため、桜の苗木を植樹し、景観形成と魅力アップを図りました。また、地区内の桜のウォーキングマップを作製し、地区全世帯に配布することにより、わが地区の桜の景観価値や当会の活動についてご理解をいただきました。さらに、案内板や木製ベンチを設置し、地区住民が集う場所となるとともに、将来の桜の名勝としての整備を行うことができました。

【活動内容】
- 桜の苗木を植樹。
- 桜のウォーキングマップ製作し、地区内全世帯に配布。
- 案内板及び木製ベンチの設置。

桜の名所へ 本格整備

地域住民 腰掛け、案内板、マップ

白山・一ノ宮地区

苗木も追加

白山市一ノ宮地区を桜の名所として周知するため、地区住民でつくる「一ノ宮桜の郷友の会」が9日までに、県管理浄水場周辺を彩る桜並木の本格整備に乗りだした。植樹から10年がたち、見事な花を咲かせるようになったことがきっかけで、10月ごろには苗木を追加し、腰掛けと案内板を設ける。白山比咩神社を含む花見スポットの周遊を促すウオーキングマップも作り、ふるさとに磨きを掛ける。

友の会は2010年に設立され、同浄水場周辺の水田沿いを中心とした総延長約300メートルに約650本のソメイヨシノや河津桜などの苗木計画を立て、住民の植樹を進めてきた。現在は会員53人が年2回、下草刈りを行って桜を管理している。

同会によると、浄水場周辺の桜は毎年3～4月に見頃を迎え、住民の憩いとなっている。地区内には県林業試験場樹木公園や白山比咩神社などの花見スポットが点在しており、地区全体を桜の名所として発信することにした。

計画では浄水場近くにベンチと案内板を新設し、河津桜の苗木約20本を新たに植える。住民向けに来春配布するマップはA3判を2千部作り、花見スポットの場所や距離、徒歩での所要時間などを掲載する。来年4月にはマップを使ったウオーキングイベントも企画している。

活動は市の「市民提案型まちづくり支援事業」の採択を受けて取り組む。

8日には浄水場前で会員約10人が下草を刈り、来春の開花を心待ちにした。多賀直紀会長(59)は「桜が一ノ宮地区の象徴として親しまれるようになってほしい」と話した。

桜並木で下草を刈る会員。腰掛けや案内板の整備などを手伝う＝白山市白山町

北國新聞掲載(R2.8.10)

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑮	
事業名	こびとづかんの町つるぎ　町おこし【継続３年目】
団体名	こびとづかんの町つるぎ実行委員会
活動地区	鶴来地区

活動紹介（事業の概要）

　児童書「こびとづかん」の作者なばたとしたか氏の出身地である鶴来地区において、当初は、こびとづかんを活用したスタンプラリーマップの作成やスタンプラリーを企画していましたが、コロナの影響により中止を余儀なくされた為、見て楽しみ、横に立って撮影できるタイプの自立パネルを製作しました。地区内の４ヶ所に設置したパネルは、来訪者が記念撮影を行ったり、スタンプラリーの場所の目印となるなど、こびとづかんの町を市内外に発信することができました。

【活動内容】

●こびとの自立パネル作成　５体
　地区内の４ヶ所に設置【こびと百貨店、白山市観光連盟、横町うららら館、スカイ獅子吼（冬期間はパーク獅子吼）】

●その他
・合併により新たに誕生した「はくさん信用金庫」が誕生記念として「ぬり絵コンクール」を開催。（応募数 582作品）
・泉印刷が令和３年の年賀状に「こびとづかんの町つるぎ」オリジナルデザインを新たに作成・販売。

はくさん信用金庫　誕生記念

こびとづかん
ぬり絵コンクール開催!

わたしたち、はくさん信用金庫は、平成３０年３月３日に「こびとづかんの町つるぎ」の宣言調印式をもってスタートした、鶴来地域の「こびとづかん」を活用した街づくりの取り組みの趣旨に賛同し、「こびとづかん通帳」や「こびとづかんキャッシュカード」を発行するなど、全役職員でつるぎ地域の町おこしに取り組んでおります!!

令和２年９月７日より、はくさん信用金庫　として新たにスタートをしたことを記念して、「こびとづかん ぬり絵コンクール」を開催いたします!!
みなさまから可愛いぬり絵を募集いたしますので、たくさんのご応募をお待ちしております♪

◆ぬり絵用紙　：　別途"こびとづかん通帳はじめます"チラシの裏面をご利用ください
◆作品応募期間　：　令和２年９月７日（月）～令和２年１１月３０日（月）
◆作品提出先　：　はくさん信用金庫　各営業店窓口および渉外担当者
◆入選発表　：　ショッピングスクエア「レッツ」および当金庫ホームページにて発表予定
＜１２月下旬頃を予定しております＞
◆選考委員　：　鶴来まちづくり協議会会長、こびとづかんの町つるぎ実行委員会委員長、当金庫代表理事など
◆入選人数　：　金賞１名、　銀賞３名、　銅賞６名、　合計１０名
◆入選賞品　：　①　こびとづかんグッズ
②　共通商品券　…　レッツ、ショッピングセンターコア（白山市井口町）
鶴来本町通り商店街などで使えます。
◆作品展示場所　：　ショッピングスクエア「レッツ」（白山市鶴来下東町カ２６）
◆作品展示期間　：　令和２年１２月下旬頃～令和３年１月末日　※予定

ご応募の際にご記入いただきました内容については、このコンクール以外の目的では使用いたしません。

◇お問い合わせ先◇
「各営業店窓口」または、「はくさん信用金庫　総合企画部　076-233-1184（直通）」

HAKUSAN SHINKIN

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑯	
事業名	新鶴来八景の発掘と伝承事業【継続２年目】
団体名	鶴来ふるさと歴史研究会
活動地区	鶴来地区

活動紹介（事業の概要）

今年度は鶴来地区の「新鶴来八景」の認知を高め、白山手取川ジオパークに合わせた豊かな自然や文化遺産を幅広く伝承することを目的として、昨年度に作成したマップを活用して、地区内の各種団体や地元の小・中学生、高校生、来訪者への周知に努めました。

【活動内容】
- マップを活用しての「新鶴来八景」の伝承。
- 「新鶴来八景」の説明付き立て看板の設置。
- 動画（DVD）を作成。上映会の開催。

「鶴来新八景」映像に

100年ぶり選定　50人鑑賞

ふるさと歴史研究会

白山市の鶴来（ふるさと）歴史研究会は、「ふるさとの代表的な景勝地として選定した「鶴来新八景」を映像にまとめた。約100年前に選ばれた八景に代わる新たな景勝を発掘するため、2年間にわたって取り組んだ事業の集大成となる。21日は地元で上映会（北國新聞社後援）が開かれ、関係者が白山の自然と人々の営みが織りなす美しい風景を守り伝える決意を新たにした。

獅子吼高原の眺望など

従来の「鶴来八景」は1927（昭和2）年に選定された。江戸末期に当地を訪れた京都の文人・福田美術が挙げた12景を基に、茨城県の詩人・野口雨情や東京の童話作家・巖谷小波らの監修で、旧鶴来観光協会の前身「鶴来保勝会」が選んだ。

鶴来新八景

獅子吼頂　眺望絶佳	獅子吼高原頂上からの眺望
比咩社琵琶滝瀬音	白山比咩神社表参道「琵琶滝」の瀬音
手取瀑水七ケ水旅	白山町安久清ケ瀬・七ケ用水隧道出口
舟岡山古道　残雪	舟岡山下の平古道
うらら館秋月	横町うらら館
鶴来別院晩鐘	鶴来別院鐘楼堂の晩鐘
金剛真名井祈雨	金剛宮境内にある池「天の真名井」
一関院磨崖不動延寿	浄土宗一関寺の不動明王像

桜の咲く白山比咩神社参道を「白山路桜花」、現在の獅子吼高原を「後高山朝霞」などとして伝えてきたが、時代の変遷で失われた景観もあった。

保存会は2019年、市事業の採択を受け、新たな八景の発掘にのりだした。歴史と伝統を映し、地域の生活に根ざしている景観として、獅子吼高原からの眺望や白山比咩神社の「琵琶滝」の瀬音などを選んだ。

昨年は新旧の八景を記したマップと冊子を作成、景観を後世に継承し、観光や白山手取川ジオパークの推進にも役立てようと、約40分のビデオを編集した。

市総合文化会館クレインで開かれた上映会では、約50人が映像を鑑賞した。安達政司会長（83）は「今後は保全活動に力を入れていきたい」と話した。

北國新聞掲載(R3.3.22)

ビデオ上映会のご案内　予約制 入場無料

感動の鶴来新八景物語

白山手取川ジオパーク推進協議会連携協定事業

白山市市民提案型まちづくり支援事業「新鶴来八景の発掘と伝承」に基づいて動画を制作しました。この度、白山手取川ジオパーク推進協議会連携事業および白山市文化協会事業の一環として上映会を開催する運びとなりました。

新コロナ対策のため、参加者の制限をさせて頂き、鶴来地区文化協会グループの皆さんを主体にご案内いたしました。

１　主　催	鶴来ふるさと歴史研究会
共　催	白山市ふるさと歴史研究協議会
２　後　援	・白山市文化協会 ・白山手取川ジオパーク推進協議会 ・北國新聞社
３　開催日	令和３年（2021）３月２１日（日）
４　会　場	鶴来総合文化会館クレイン 第２/第３研修室 白山市七原町77番地　076-273-4280
５　日　程	受付　９：３０～１０：００
第1部	講演　１０：００～１０：２０ 鶴来新八景と白山手取川ジオパーク連携事業 「感動の鶴来新八景物語」の動画紹介 鶴来ふるさと歴史研究会事務局長　正脇 茂昭
第2部	ビデオ上映　１０：２０～１１：２０ 動画編集：松任郷土研究会副会長　中田 政秀

◇参加者には、ＤＶＤを無償で差し上げます。鶴来新八景の伝承にご活用いただければ幸いです。

＊参加者は、新型コロナ三密対策のため次の事項にご協力ください
1　受付で体温測定と手指の消毒を行います。
2　当日受付の際、お名前・ご連絡先の確認にご協力ください。
3　入場の際はマスクを着用してください。

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑰	
事業名	白山市天然記念物「桂の木」散策道等の周辺環境整備及び景観改善・周知【継続２年目】
団体名	白山瀬波の会
活動地区	吉野谷地区

活動紹介（事業の概要）

高齢化と人口流出が進む瀬波地区において、地域の最大資源である有用な自然を生かした地域活性化事業として、地域への交流人口の拡大と、元気で住みよい魅力ある地域づくりを目指し、白山市天然記念物「桂の木」周辺環境整備を行いました。

【活動内容】

- 「桂の木」周辺の雑草木の除去や木道と木段で囲み回遊性を高める等の環境改善を行いました。
- ベンチや道標となる案内板の設置。
- 「オンソリ山登山とカツラの巨樹に出会う」イベントの開催。
  （開催日 10/25、参加者数 20人）

「オンソリ山登山とカツラの巨樹に出会う」イベント

令和２年度　白山市市民提案型まちづくり支援事業　活動紹介　⑱	
事業名	白峰移住あるある支援事業【新規】
団体名	特定非営利活動法人 白山しらみね自然学校
活動地区	白峰地区
活動紹介（事業の概要）	

白峰地区の移住者等が地域コミュニティに溶け込むことへの支援や、移住促進を目的に地域特有の慣習や文化、方言、地域情報や生活便利情報、移住支援情報を盛り込んだガイドブックを制作しました。パンフレットの制作を通じて地域コミュニティの醸成を図ることができ、パンフレットの制作過程において移住に関する課題の把握ができました。

【活動内容】

●移住支援パンフレットの作成。500冊

・全体編集会議（１回）、個別編集会議（３回）

・白峰生活の課題に関する個別ヒアリング（随時）